



©H.Ito 2022

生誕130年

芹沢光治良を偲ぶ会

とき：2026年5月4日（月・祝）13:30～15:00（13:00開場）

ところ：沼津市芹沢光治良記念館 2階ギャラリー

〒410-0823 沼津市我入道蔓陀ヶ原（がにゅうどうまんだがはら）517-1

当日は、記念館の入館料無料、参加費不要。

申込：「沼津芹沢光治良文学愛好会」不破（090-6023-5629）

《プログラム》

第一部 講演 光治良作品に登場する音楽家、楽曲
～ 芹沢光治良作品のピアノ音楽と思い～

第二部 電子ピアノ演奏

光治良がヨーロッパで出会った音楽

モーツァルト	ピアノソナタ	KV545	第1楽章
ベートーベン	ピアノソナタ	月光	第1楽章
シューベルト	即興曲から主題		
ショパン	子犬のワルツ		
ドビュッシー	亜麻色の髪の乙女	ほか	

今年（2026年）は、沼津市出身の作家、芹沢光治良（せりざわ こうじろう 1896.5.4.～1993.3.23.）の生誕から130年です。

光治良は、1925年から約3年間フランスに留学し、社会統計学などを学び、また欧州の文学・演劇・音楽・絵画に出会い、日・欧の「文化の違い」に気づいて、深く考えました。光治良は、すでに旧制中学時代、友人の家で聴いたピアノ音楽（レコード）や、恩師が紹介したフランス絵画に触れ、たいへん感動したようです。

光治良の文学作品には、有名なヨーロッパの音楽家や曲名が登場します。今日は、光治良が作品のなかで、舞台や人物の描写に《音楽》を用いていると思われる箇所をご紹介したいと思います。

また、光治良自身が愛したと思われるピアノ曲も聴いてみたいと思います。光治良を偲ぶ演奏会を、どうぞ気軽にお楽しみ下さい。

主催：沼津芹沢光治良文学愛好会

410-0823 沼津市我入道東町151-1 芹沢方

代表 不破久温 090-6023-5629

副代表 芹沢光治 090-7855-4229